

内閣府青年国際交流事業報告書2023

# 令和5年度 「世界青年の船」事業



内閣府

内閣府青年国際交流事業報告書2023

# 令和5年度 「世界青年の船」事業



### 略語一覧

※本文の中で略語が使用されている場合がありますので、御参照ください。

「世界青年の船」事業	Ship for World Youth Program	SWY
参加青年	Participating Youth	PY
日本参加青年	Japanese Participating Youth	JPY
外国参加青年	Overseas Participating Youth	OPY
既参加青年	Ex-Participating Youth	Ex-PY
管理部員	Administration	ADM
ナショナル・リーダー	National Leader	NL
サブ・ナショナル・リーダー	Sub-National Leader	SNL
ユース・リーダー	Youth Leader	YL
アシスタント・ユース・リーダー	Assistant Youth Leader	AYL
グループ・リーダー	Group Leader	GL
アシスタント・グループ・リーダー	Assistant Group Leader	AGL
コース・ディスカッション	Course Discussion	CD
ピア・ラーニング・セミナー	Peer-Learning Seminar	PLS
寄港地活動	Port of Call Activity	POC
自主活動	Voluntary Activity	VA
「世界青年の船」事業事後活動組織	Ship for World Youth Alumni Association	SWYAA
日本青年国際交流機構	International Youth Exchange Organization of Japan	IYEO

## 序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

その中でも、「世界青年の船」事業は、1967年に明治百年記念事業の1つとして開始された「青年の船」事業が、1988年に日本参加青年と外国参加青年の交流を主軸とし、ディスカッション等を取り入れた事業内容へ変更され「世界青年の船」事業へ発展的に改組されたものです。世界各地から青年が集い船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を通じて、異文化対応力やリーダーシップ力の向上を図り、社会貢献ができる次世代グローバル・リーダーとなる青年を育成するとともに、グローバルな人的ネットワークの構築を目的としています。

今年度は、事前のオンライン交流の後、4年ぶりに船を動かして、船上で共同生活を行いながら日本国内の各地を周る形で交流を行い、京都府、兵庫県での地域訪問活動、高知県での地域実践活動を軸とした28日間の日程で事業を実施しました。

地域訪問活動では、グループに分かれて地方公共団体の首長等への表敬訪問、地元青少年との交流、施設訪問などを行い、京都府、兵庫県それぞれの地域特有の文化や社会課題について学びました。地域実践活動では、事前にファシリテーター主導で、テーマごとに議論を深めたうえで高知県に入り、地域が現に抱える課題について実際の取組状況を学びながら、どのようにそれを解決できるか議論を重ね、具体的な提案を行うところまで実施しました。また東京プログラムでは、チームビルディング等を行うとともに、各国参加青年の代表者が、佳子内親王殿下による御引見や岸田文雄内閣総理大臣への表敬訪問を行いました。これらのプログラムを通じて、参加青年は、相互理解を深めるとともに、幅広い視野をもつリーダーに成長するための礎となる得難い経験を数多くしたものと確信しています。

この報告書は、参加青年がオンライン及び日本国内で行った様々な活動を記録したものです。また、本事業に対するナショナル・リーダーによる事業評価等も収録しています。この報告書が本事業の内容や成果を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

最後に、本事業の実施に当たって御協力いただいた参加各国政府、受入に御尽力いただいた各地方公共団体や地元の皆様、事後活動組織、青少年団体及び各寄港地実行委員をはじめとした各寄港地での受入関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

令和6年3月  
内閣府青年国際交流担当室長  
由布 和嘉子

# 内閣府青年国際交流事業報告書2023 令和5年度「世界青年の船」事業

## 目次

略語一覧	2
序	3
カラーグラビア	5
<b>第1章 事業の概要</b>	
1. 目的	22
2. デリゲーション(参加国)	22
3. 組織	22
4. 事業の準備日程	23
5. 事業日程	24
<b>第2章 事業の実施</b>	
1. コース・ディスカッション(CD)	28
1.1. コース・ディスカッション・レポート	29
1.2. 地域実践活動	53
1.3. サマリー・フォーラム	58
2. 地域訪問活動	59
3. 委員会活動	63
3.1. All-PYセミナー委員会	64
3.2. ディスカッション委員会	65
3.3. ピア・ラーニング・セミナー(PLS)委員会	65
3.4. 寄港地活動委員会	68
3.5. プレス委員会	69
3.6. 自主活動(VA)委員会	70
4. 内閣総理大臣メッセージ	72
<b>第3章 事業に対する評価</b>	
1. 管理官評価	74
2. 各国ナショナル・リーダー評価	75
<b>関係資料</b>	
1. 参加青年の構成	80
2. 航路図	81
3. 参加者一覧	82
4. 事後活動	101
5. 既参加青年による事後活動組織設立への動きとその歴史	101
6. SWYAA国際連盟について	103
7. 事業実績	105